



題字 ㊸ 末吉太郎



ご挨拶

近畿支部長 渡辺卓司

富山薬窓会近畿支部の皆さまにはつつがなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。今年3月11日に起きた東日本大震災で仙台、つくばの知人達からの悲惨な様子を聞くに付け、阪神大震災を思い起こしてしましますが、東日本の1日も早い復興を祈っています。

近畿支部は、財団法人日本薬剤師研修センターの研修施設に登録されています。昨年の総会での研修会は後発医薬品がテーマでした。企業の立場から感じることを石田貢様に、また、病院側からの意見を西尾孝様に講演していただきました。近畿支部の皆様のごジェネリック医薬品に対する見識が広がったことと思います。また、総会に参加すれば単位が取れるということが広まり、若い人が総会にどんどん参加してくれることを大いに期待しています。総会では引き続き、母校の近況報告を酒井先生にお話しいただきました。

女性だけの集い、芍薬会は今年で9年目を迎えます。今年の芍薬会は、11月に世界文化遺産の宇治周辺、平等院と宇治上神社そして黄檗山萬福寺を訪ねる予定となっているようです。詳しくはきんき遠久、最後の方をご覧ください。

近畿遠久ゴルフは年2回、開催されています。このゴルフ会の報告も、きんき遠久の最後の方で紹介させていただいていますので、皆様ご覧ください。

近畿支部では2005年1月から月例会「山金会」が発足しました。毎月、第3金曜日には三々五々、会員が新阪急ホテルB2「ピーツ」に集ります。この山金会は今年5月で77回を迎えました。お陰さまで近畿支部のサロンとしてすっかり定着いたしました。時折、首都圏支部や富山、全国からも薬窓会の客人が集まります。また、定期的に同期会で集まっておられる方もあります。この山金会は近畿支部の堀端基金から補助をいただいていますので、会員の皆様におかれましては同期、同窓お誘いの上、気軽にお集まり下さり親交を深めていただくようお願いいたします。

ところで、このような同窓生の交流の場も、個人情報保護法の成立以来、何かと動きにくくなった感があります。しかし、この法律は「個人情報取扱事業者：個人情報データベース等を事業の用に供している者」を対象としたもので、薬窓会近畿支部のように、同窓生の親睦を目的とする会には、全く無縁なのです。若い方々にもこころあたりのことをよくご理解いただき、もっともっと若い方々が近畿支部に集まっていだけるようにと願ってやみません。と同時に、同じ悩みを抱える薬窓会首都圏支部、さらには薬窓会全体でコミュニケーションを緊密に取り、同窓生が気軽に楽しめる場とすることを強く願っています。

このように、薬学を取り巻く変化の中、薬窓会近畿支部の皆様方が忌憚なく情報交換を図ることができ、また薬窓会会員としてお互い広く友好を深めていただけるよう、強く願っています。58回の柚本さんから、近畿支部長を引き継いで、はや1年となります。最後になりましたが、まだまだ不慣れなこともあり、諸先輩はじめ、会員の皆様に対し、不行き届きな所があるとは思いますが、役員一同協力し、よりよい活動に向けていきたいので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

(59回卒)

E-mail: watanabe@peptide.co.jp

わが国の薬物犯罪と科学捜査

大阪府警本部 科学捜査研究所

㊦ 志摩 典明

私が富山医科薬科大学博士前期課程を修了してから、ちょうど10年になります。この10年間、大阪府警・科学捜査研究所化学研究員として、薬物鑑定や研究業務に携わり、多くの薬物犯罪と関わってきました。今回は、わが国の薬物犯罪の現状とそれを取り締まる科学捜査について紹介致します。

「乱用薬物」

薬物犯罪というと、一般には乱用薬物が頭に思い浮かぶのではないかと思います。わが国で問題となっている乱用薬物は、覚せい剤メタンフェタミン(MA)をはじめ、大麻、3,4-メチレンジオキシメタンフェタミン(MDMA)、コカイン、ヘロイン、リゼルギン酸ジエチルアミド(LSD)等多種にわたります。なかでも、覚せい剤MAは、強い中枢神経興奮作用を示す薬物で、戦後から現在に至るまで薬物事犯の大半を占めており、再犯率も50%を超えています。また、ここ数年における特徴としては、大麻の乱用増加が挙げられます。

一方、2000年前後からは、法的規制のないデザインードラッグが、「違法薬物(いわゆる脱法ドラッグ)」としてインターネットやアダルトショップ等で普及し、入手が簡便であるのも手伝って、若年層の間で乱用が急増しています。これらの薬物は、覚せい剤をはじめとする規制薬物にも匹敵する作用を有するにもかかわらず、その危険性の認識は低く、過量摂取による中毒や、乱用が主因となる犯罪や事故等様々な弊害を引き起こしています。このような現状を打破するために、厚生労働省は、毒性や乱用性の高い薬物は随時「麻薬」に指定し(Table 1)、また薬事法の改正に伴い、2007年度には数十種類に及ぶ薬物を「指定薬物」として、製造・販売を規制するに至っています。

「凶悪犯罪に関わる薬物」

犯罪の陰に薬物あり、と言われるように、乱用薬物のほかにも、睡眠薬を用いた殺人や毒物混入事件等、凶悪犯罪に薬毒物が関わっているケースが数多く見受けられます。「死因不明社会」と称される昨今、鳥取県や埼玉県での連続不審死事案等をはじめ、自殺を偽装した殺人事件が発覚したこともあり、解剖と並んで薬毒物鑑定の重要性が再認識されており、鑑定嘱託件数は全国的に増加しております。

このような薬物犯罪を取り締まるにあたって、薬物分析が重要な役割を果たしています。しかしながら、上述のように対象となる薬物は多種にわたり、分析試料も、粉末、錠剤、尿、血液、毛髪、胃内容物、臓器等多岐にわたるため、その時々に応じて、適切な分析法を適用する必要があります。また、新種の薬物の流通や分析機器の発展、法律の改正等に伴い、薬物分析は絶えず開発・改良が求められます。

このような状況下で、我々は膨大な鑑定嘱託への対応と共に、薬物分析に関わる研究を積極的に行っております。本講演ではその一部について紹介したいと思います。

Table 1 The drugs controlled as narcotics since 2001 or later.

2001	gamma-hydroxybutyric acid (GHB) 4-methylthioamphetamine (4-MTA)
2003	1-benzylpiperazine (BZP) 1-(3-trifluoromethylphenyl)piperazine (TFMPP) amineptine
2005	5-methoxy-N,N-diisopropyltryptamine (5-MeO-DIPT) alpha-methyltryptamine (AMT)
2006	2,5-dimethoxy-4-propylthiophenethylamine (2C-T-7) N-methyl-1-(1,3-benzodioxol-5-yl)-2-butanamine (MBDB) 1-(3-chlorophenyl)-piperazine (3CPP) 2,4,5-trimethoxyamphetamine (TMA2)
2007	ketamine methyldone
2008	2-(4-iodo-2,5-dimethoxyphenyl)ethylamine (2C-I) 2-(4-ethylsulfanyl-2,5-dimethoxyphenyl)ethylamine (2C-T-2) 2-(2,5-dimethoxy-4-isopropylsulfanylphenyl)ethylamine (2C-T-4)
2009	N-methyl-N-(1-(3,4-methylenedioxyphenyl)propan-2-yl)hydroxylamine (N-OH-MDMA)



免疫のおはなし

大阪大谷大学薬学部 免疫学講座

⑤9 小野 史郎

思い起こせば、富山大学薬学部の3年生の時に、病態生化学教室の中島松一先生が講義された免疫学の面白さに魅了されて、現在に至るまで免疫学の仕事に携わってきております。富山大学卒業後、大阪大学大学院医学系研究科の博士課程、そして大阪大学医学部腫瘍発生学教室での27年間の教員生活を経て、平成18年4月1日より6年制薬学部を新設した大阪大谷大学の免疫学講座でお世話になっております。真面目ではなかった私が研究生生活を送ることが出来たのは、中島先生の「レクリエーションはクリエイションだ!」という教えを曲解(?)してきたからだと思っております。この紙面をかりまして、中島先生を初め、これまでにご支援頂きました富山大学および大阪大学関係者の皆様のご厚情に感謝申し上げます。

今回、同期の渡辺支部長から富山薬窓会近畿支部総会で「免疫のおはなし」を講演する機会を頂きました。本稿では免疫の特徴や仕組みを概説いたします。

免疫系は、白血球が外界から生体に侵入してくる病原体などの異物(外的異物)を排除する生体防御の役割を担っています。白血球は、リンパ球、単球/マクロファージ、顆粒球(好中球、好酸球、好塩基球)、NK細胞などから構成されます。好中球、マクロファージ、NK細胞などが、生体の最前線で防御にあたる自然免疫は、異物の侵入を即時に感知し速やかに異物を排除します。大量の異物に対処するには量的・質的な増幅が可能なリンパ球(Tリンパ球とBリンパ球)が作動する獲得免疫(適応免疫)の応援が必要となりますが、リンパ球の活性化には数日を要しますので、自然免疫と獲得免疫の連携が大切です。なお、生体が以前に接触した異物に再び出会った際に、初回のときよりも迅速かつ強力な免疫応答を惹起する免疫記憶は、獲得免疫の特徴でTおよびBリンパ球により担われますが、自然免疫では誘導されません。この免疫記憶を利用したのが、種々の病原微生物に対する予防接種です。

無数の異物に免疫系はどのように対応するのでしょうか。自然免疫では、貪食作用を有するマクロファージや好中球が表面に発現される幾種類かのパターン認識受容体を介して、病原体に共通に存在する分子構造を認識し、細胞内に病原体を取り込み殺傷します。また、パターン認識受容体の一つであるToll様受容体

(TLR)からの刺激は、マクロファージや好中球を活性化し、IL(インターロイキン)-1, IL-6, TNF(腫瘍壊死因子)- α などの炎症性サイトカイン(可溶性の生理活性タンパク質)の産生を誘導し、初期免疫の異物排除を促進します。現在、TLR1~TLR13まで知られており、TLR2は主にグラム陽性菌に、TLR4はグラム陰性菌に反応します。歴史的に、Toll受容体が異物排除に関わる分子であることは、Toll受容体に変異が生じたハエはカビだらけになるという観察から見いだされました。そして、ヒトで相同の遺伝子が見つかった経緯からToll様受容体と名付けられました。最近注目を集めているこの分野の研究は、日本人科学者が世界をリードしています。

一方、TおよびBリンパ球は、ほぼ無数にある異物の抗原(リンパ球が認識する異物の目印となる分子)のなかの一つに反応する抗原受容体を1種類だけ細胞表面に発現します。これら多様な抗原にそれぞれ反応性を示すリンパ球(クローン)が多種類集まって、TおよびBリンパ球の集団を形成します。リンパ球の抗原受容体遺伝子は、リンパ球成熟過程で複数の遺伝子断片群を組み合わせる機構(遺伝子再構成)により作られるので、限られた数の遺伝子の組み合わせで、天文学的な数の抗原受容体遺伝子レパートリーを作り出せます(ノーベル生理学賞の利根川進先生の発見)。このように、獲得免疫系では、1個のリンパ球に1種類の抗原受容体だけを発現する多様なリンパ球クローンを生成する仕組みが備わっています。生体に準備される、ある抗原に特異的な抗原受容体を持つリンパ球のクローンサイズは小さいが、異物(抗原)に遭遇すると、対応する抗原受容体を持つリンパ球クローンだけが指数関数的に増加し、異物排除機能を発揮する活性化リンパ球となります。

獲得免疫は、Bリンパ球が介在する体液性免疫とTリンパ球により担われる細胞性免疫に大別されます。体液性免疫は、Bリンパ球から分泌される抗原受容体(抗体)により担われます。抗体は病原体に結合し貪食細胞による取り込みを促進したり、補体の助けを借りて病原体を破壊したり、病原体の毒素を中和したり、細胞への感染を阻害することにより異物の侵入を防御します。一方、細胞性免疫では、活性化Tリンパ球がウイルス感染細胞を破壊したり、IFN- γ などのサイトカイン産生を介してマクロファージを活性化し、異物の取り込みや殺菌能力を高めたりすることにより、異

物を排除します。分子量の大きな抗体は感染細胞の中に入っていけないので、体液性免疫は主に化膿性細菌などの細胞外増殖性微生物の排除にあたり、Tリンパ球が関与する細胞性免疫はウイルスや結核菌などの細胞内寄生微生物の排除にあたります。

Tリンパ球は細胞表面のCD4やCD8分子の発現パターンの違いにより二つに分類されます。CD4 Tリンパ球はヘルパーT細胞(Th)とも呼ばれ、マクロファージの活性化やB細胞の抗体産生細胞への分化を補助し、CD8 Tリンパ球はウイルス感染細胞破壊を担う細胞傷害性Tリンパ球(CTL)／キラーT細胞に分化します。CD4 Tリンパ球は産生するサイトカインパターンの違いにより、さらにTh1, Th2, Th17に分類されます。Th2はIL-4などの産生を介してBリンパ球の抗体産生細胞への分化誘導を補助し、Th1はIFN- γ の産生を介してマクロファージを活性化します。最近見出されたIL-17産生性Th17は、ある特定の病原微生物に対する感染抵抗性を担っています。興味深いことに、Th17は関節リウマチや炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎やクローン病)の発症や担癌生体における癌の増殖に重要な役割を演じていることが最近見いだされています。

CD4 Tリンパ球がTh1, Th2, Th17の何れに分化するかは、CD4 Tリンパ球が抗原刺激を受ける過程に、自然免疫系からどのようなサイトカインが産生されるかにより決定されます。例えば、マクロファージからのIL-12が存在するとTh1が選択的に誘導されます。Th1, Th2, Th17から産生されるサイトカインは、それぞれ他のThの分化や活性化を相互に制御しており、このバランスにより免疫応答が維持されています。Th2が亢進するとアレルギー疾患、Th17が亢進すると関節リウマチなどの自己免疫疾患を発症しやすくなります。

免疫系の特徴として、リンパ球の抗原受容体による抗原認識の様式があります。抗体やBリンパ球抗原受容体はタンパク質のみならず、糖、脂質、化学合成物質からなる抗原に直接結合できます。また、タンパク質の立体構造(不連続なアミノ酸により形成)やペプチド(連続したアミノ酸の一次配列)を認識できます。抗体の認識特性は、ベンゼン環の2置換体の位置異性体、バラ、オルト、メタの違いを識別できる程の厳密さです。一方、Tリンパ球の抗原受容体は直接抗原に結合できません。Tリンパ球は、何故か自己の主要組織適合性複合体(MHC)と断片化抗原ペプチドの複合体を

認識します。MHCは移植において拒絶反応を惹き起こす抗原分子で、一卵性双生児以外に同じMHC型を持つ人は極めて稀であるという程に多型性を示します。このようなTリンパ球へのMHC-断片化抗原複合体の提示は、樹状細胞やマクロファージなどの抗原提示細胞により行われます。MHCにはクラスIとクラスIIの2種類があり、それにとまって、抗原提示細胞による抗原の提示にも2通りあります。

一つは外因性経路と呼ばれる提示法で、異物を抗原提示細胞内に取り込み、異物タンパク質を消化し、生じたペプチド断片をMHCクラスII分子に結合させ、この複合体をCD4 Tリンパ球に提示し、マクロファージを活性化するTh1や抗体産生を補助するTh2を誘導します。もう一つは内因性経路と呼ばれるもので、細胞内で合成された異物タンパク質(感染細胞内で増殖するウイルスが作るタンパク質など)は、外因性経路とは異なる機構でタンパク質が断片化され、MHCクラスI分子と複合体を形成し、この複合体がCD8 Tリンパ球に提示され、感染細胞を破壊するキラーT細胞が誘導されます。強力な病原体に立ち向かうためには、抗体、CD4およびCD8 Tリンパ球の全てが作動することが必要です。従って、効果的なワクチンをデザインするには、外因性と内因性の両方の抗原提示経路を機能させる工夫が要求されます。

MHC分子に結合できるのはアミノ酸10個程度のペプチドだけなので、Tリンパ球の認識の対象となるのはタンパク質だけで、糖、脂質、化学合成物質はTリンパ球の抗原とはなり得ません。あるMHC型を持つヒトは特定の病原体に感染し易いという性質は、多くの場合個人のMHC型の違い、ひいては病原体由来のペプチドがそのMHCと複合体を形成し難いということに起因します。これは、あるMHC型を持つヒトは、特定の自己免疫疾患の発症頻度が高いということにも関連します。

生体に準備されたリンパ球の抗原受容体レパートリーは、複数の遺伝子群のランダムな組み合わせにより作り出されるので、そのなかには自己成分に反応する抗原受容体を発現するリンパ球クローンも生成します。それでは、どのような機構により、自己反応性リンパ球は制御されているのでしょうか?骨髄の造血系幹細胞が胸腺に移住し、分化するとTリンパ球が生成します。これに対して、Bリンパ球は造血系幹細胞が骨髄内で分化して生み出されます。骨髄および胸腺内のリンパ球初期分化過程で、自己成分に強く反応するリン

パ球はネガティブセレクションと呼ばれる機構により除去され、自己成分以外の異物に反応するリンパ球がリンパ節などの末梢リンパ組織に移住します。

そして、血管→リンパ節→リンパ管→血管と体内を再循環して、異物の侵入を監視しています。多くの自己反応性リンパ球は上記の機構で除かれますが、ネガティブセレクションを逃れて末梢リンパ組織に移住する自己反応性リンパ球も少なからず存在します。このよう自己反応性リンパ球は制御性CD4 Tリンパ(Treg)と呼ばれる細胞により機能発現が抑制されます。

Tregの重要性は、Tregを欠損するヒトでは、種々の自己免疫疾患が発症することから示されています。

なお、Tregは自己反応性リンパ球の制御のみならず、異物に対する免疫応答もコントロールしています。

免疫系では、外的異物の排除に当たるばかりでなく、遺伝子突然変異が蓄積して正常細胞から出現する癌細胞(内的異物)を排除する免疫監視機構も作動しています。実際、先天性免疫不全の患者さんや免疫抑制剤を投与された移植患者さんで癌の発生頻度が著明に高いことが知られています。また、Tregの機能発現を抑えると、癌に対する免疫応答が増強され、癌の増殖が抑制されることも報告されています。一方、免疫系は時として生体に不利益な反応をもたらす場合もあります。例えば、花粉症やアトピー性皮膚炎などは、通常産生される抗体クラス(IgMやIgG)とは異なり、マスト細胞に親和性のあるクラスの抗体(IgE)を産生しやすい人が罹り易い疾患です。

今回の講演では、上記の免疫系の基本原理が現代の免疫医療にどのように応用されているかをお話する予定です。



研究成果を格調の高い英文で 発表されるかたへの助言

④ 小西 友義

英文の構築に役立つ英語教育を専門課程で行うには、それなりの実学的な英語教授法が必要です。そのためには、まず英語の理解能力(読む・聞く)の強化が必要ですが、さらに表現能力(話す・書く)の錬磨も含むべきです。

正しい英語表現の力の前提となるのは正しい国語の力であり、日本人にとっては論理的コミュニケーションを可能にする正しい国語能力なくしては英語の上達は望めません。すなわち、筋道立った論理的な文、論理を他人に伝える日本文を正しく構築できる国語能力の向上こそ英語学習の原点でしょう。そのための国語教育の充実をまず望みたいと思います。

ここで言う英語とは、対象が当然のことながら専門用語よりも幅が広く、ソフトな面、つまり in や for などの前置詞、take や get などの動詞、冠詞や接続詞などの慣用語の用法、「数」にまつわる英語特有の語法、それに syntax (構文法)までも含む、医・薬学とその周辺での幅広い英語の知識になります。これらがやがて駆使できてこそ格調高い英文での表現が実現します。専門用語というハード語のほうは専門の各教科で習得でき、また辞書や外国文献からも容易に探せますが、上記のソフトで複雑な構成要素となると、誰しも至難なのが実情です。

外国語に限らず自国語についても言えることですが、表現力は誰にとっても理解能力よりかなり低いもので、「英作文は苦手」という声が昔も今も多いのは当然と言えるでしょう。つまり理解能力が仮に10の高さに達したら表現能力はやっと3にくるとというのが実情でしょう。このことは表現力の向上を目指す観点から見ればこうも言えます。理解力と表現力の差を縮めようと焦るよりも、むしろ理解力のほうを飛躍的に伸ばしておく、つまり読解力や聴取力を ≥ 30 にまで高めておけば表現力は自然に10に届くわけで、この方が実は賢明な近道だということになります。

現実の英語教育の方法が訳読中心である以上、ここでの指導法が学生のその後の英文の読み方?特に表現力の向上を見据えた読み進め方?の上達を大きく左右

します。もしただ漫然と概意を掴むだけの訳読で済ませ、その逆の和文英訳を連想させない授業法では、表現力は永久に向上しません。だから教育者には、学生が和訳分を構築する際に、無理のない、自然な、いかにも日本語的な発想の姿に消化されるまで推敲を重ねる辛苦を体験させてこそ、学生にとっては両国語の着眼点や発想法の差異に初めて開眼でき、それがやがて英語での表現力の向上につながっていく。つまり教師が学生の理解力を質・量の両面で向上させる工夫をするのです。

「英文を書く際には主語を何にしたらよいか、熟考を要するものです。平素英文を読む際に、やがて自分が英文を書く立場になるのに備え、文章構造を注意深く見つめる習慣でいますと、主語を選ぶ眼識ができてきます。主語を的確に選ぶことは、よい英文を書く鍵だと言っても過言ではありません。よい英作文作成にもう1つ必要なことは、母国語である日本語に繊細な神経を持つことです。かつて日本医学会総会の特別講演で、評論家の柳田邦男氏が、医師の教育には日本語の教育が必要だと語り共感を呼びました。」

そこで以上を意識した訳読授業や自習法の進め方を例示します。私の自験例から両国語が発想の面で大きく異なるテーマを1つ選んで、例文を使って発想の差にうまく着眼させる解説例を紹介します。ここで取り上げるテーマは「名詞中心の構文」とします。つまり日本語なら副詞と動詞で言うところを、英語では形容詞と名詞で表現したり(例1)、原因や理由を表現するのに必ずしも接続詞の because や since と説を用いずに名詞的に簡潔に言える場合があったり(例2)、条件や仮定の話をするにも文脈次第では if 節を使わずに名詞的にサラッと流せたり(例3)、譲歩(…だけれども、たとえ…でもなどの語法)の表現にも時には(al) though などを使わずにアッサリ言える場合(例4)もあることを訳読授業の際に教師が学生に気付かせるのです。「この際もし逆に日本語が先に与えられていたとしたら、諸君ならどう英訳するか」など持ちかけるのはよい方法でしょう。



参考文献：
小西友義：英文 3,000例の類型別活用法 JAMA の
医学例文を中心に、京都修学社、京都、2001、1

例1：Successful weight loss requires permanent lifestyle changes. (JAMA 1995, 273: 998)；

うまく体重を減らすには生活様式を永久に変えて
しまう必要がある。

【解説】直訳「成功裡な体重軽減には永久的な生活
様式変更が必要である。」英語では形容詞と名詞で
いかにも「乾いた」言い方をしている。

I'm a natural worrier. ;私は生まれつきの心配性だ。
/ Stop one of America's leading killers. (JAMA
1991, 266: 3220) ;米国の死亡原因の上位の1つ
を阻止しよう。(注：禁煙標語)

例2：The specialized nature of this test limits its
routine use. ;この検査法は性質が特殊なので、常用
するわけにはいかない。

【解説】「この試験法の特殊性がその常用を制限して
いる。」文の主部に原因・理由が既に盛られていて、
「この事実があるから…だ」と、becauseなしで因果
関係を名詞的に簡素に表現している。

His smoking spoiled my appetite. 彼が喫煙するの
で私は食欲が落ちた。

/ Headache prompted referral to us for further
evaluation. (この患者は)頭痛があるので精査のた
め当方に紹介されてきた。

例3：Home IV therapy removes the risk of
nosocomial infection. もし静注両方を家庭で実施
すれば、院内感染の危険は回避できることになる。

【解説】文の主部が if 条件節の役を代行している。

A global effort eventually can tame tuberculosis.
(JAMA 1995, 274: 1257) ;もし世界中が努力し合
えば、結核はいずれ制圧できる。/All students are
eligible. 学生なら全員応募可。

例4：Increased furosemide doses failed to mitigate
oliguria. フロセミドを増量したが、乏尿は改善しな
かった。

【解説】譲歩を示す。Stones recurred on rigorous
hydration and alkalinization. 水分とアルカリ化
剤を厳正に投与したのに結石が再発した。

/ A diligent search failed to reveal primary
carcinoma of the lung. 精査したが肺には原発が
んを認めず。/ A spill exposed 35 workers to an
undetermined amount of radiation. 漏出物に労
働者35名が被曝したが、被曝線量は不明である。

これらの文例はこのように読んでみると、逆に日本
語の立場から英文を眺めさせることによって英語の
表現力を向上させるのに好適だと言えます。

次の機会では、日本人には気づきにくい死角への
探検を話題にしたいと考えております。

エアーズロック探訪・5日間

④ 川上 四朗

いつかエアーズロックに行ってみたいと思っていた。昨年11月に僅か5日間の観光ツアーに参加した。私にとってオーストラリアはこれで4回目。最初はゴールドコーストなどのツアー、2回目はパース一人旅34日間、3回目はアデレード一人旅16日間。関西空港発が午後8時25分、夕方の出発はゆっくり出来る。ケアンズまで7時間、ここで乗り換えてエアーズロックまでが3時間、合計の飛行時間は10時間。夜の飛行は眠っていれば着いてしまう。幸い私は飛行中でも比較的良く眠れるから有り難い。帰りは何故かシドニー、ケアンズ経由で13時間もかかった。日本からの添乗員はなし。各空港で日本人スタッフが待っていて親切に案内してくれるから何の不安もない。

<エアーズロック>

朝の機内から見渡す限り荒涼とした砂漠の中に、エアーズロックが忽然と小さく浮かび上がっているのを見たときは感動した。そこから少しはなれて細長い小さな岩の塊が見えた。これがマウント・オルガ岩群で今回はこの二つを観光することになっている。エアーズロックの空港は赤茶けた砂漠の中であって雰囲気は今までと全く違う。ロビーはこれが空港の建物かと思うほど小さな建物の中にあった。現地ガイドは大阪出身の若い女性、ここに来て2年になるという。結構楽しくて住み心地も良いようだ。

エアーズロックは高さが348 mで周囲が9 km。世界最大級の1枚岩で出来ている。元々は現地人アボリジニの聖地で、彼らは登山を好ましく思っていないと聞いていたが、登ろうと思えば簡単に登れると思ってやって来た。ところがガイドの話では、年間に実際に登れる日数は約半分、今年の10月に登れたのは僅かに1日だけだったと。この調子ではひょっとすると登るのは無理かも、いやな予感がした。雨や風そして日中の気温が36℃を超えると予想される時は、危険のため禁止の表示板が登り口に表示される。今まで35名が事故死しているという。

禁止の可否は、面倒でも登山口まで行かなければ分からない。ホテルなどに連絡をしない。2日半の滞在中ツアーバスで4回も確認に行ったのに、その都度登山禁止。とうとう登ることが出来なかった。

その代わり私と妻はエアーズロックを徒歩で一周した。それだけで私は大満足。

夏の日中は40℃にもなるというエアーズロックも、今回は比較的涼しくしかも湿度が少なく快適だった。

<観光の拠点>

ホテル、食堂、ショッピングセンター、情報センターがある観光拠点は、広い敷地の中にある小さなコミュニティだ。この辺一帯には他に一軒の家も無かったからエアーズロック観光のためだけに造られたことが判る。空港から僅か5 km、バスに乗ったと思っただけで着いてしまう。南のエアーズロックまでが19 km、その中間から西に約51 kmにオルガ岩群がある。道路は広く舗装され、広大な砂漠のような台地が広がっていた。車は殆ど走っていない、信号もないから快適な移動が出来る。

<オルガ岩群>

エアーズロックが1個の岩であるのに対して、オルガは36個の岩から出来ているという。最初に訪れたのはオルガ渓谷。左右に赤茶けた巨岩に囲まれた谷を歩いて往復約1時間、歩く地面も全部赤茶けた独特の岩。見応えがある。オルガの高さは546 m。今迄の登山や旅行でいろいろの岩山を見てきたが、ここの風景は今までとは全く違って見て見たことが無く圧倒される。見るからに脆そうだが実際はどうか分からない。

<エアーズロックのサンセット>

エアーズロックの日没は岩山を中心に付近が赤く染まる。それを眺める最適の場所がサンセット・ビュー・エリア。10台以上のバスが既に駐車し、いろいろの人種の観光客が路の端に並んで待機していた。日が西に傾き始めると、岩肌が徐々に赤くなってきた。そして日が沈む瞬間が一番赤く染まる。私たちはこの一瞬を見るために日本からやってきたのだ。この瞬間を見て感激しない人はいないだろう。わざわざ来る価値があったと思った。更に燃え上がるような強烈な赤に染まるのは、年に数回しかないという。その時はどんな色になるのだろうか。夕日が沈んで気温が下がって来た。静かに暮れ行く砂漠の寂しい雰囲気を感ぜながらホテルに向かった。

<エアーズロックのサンライズ>

11月3日は朝5時にホテルをバスで出発。暗闇に月が

照っていた。僅かにエアーズロックの輪郭が見える特別の場所にバスを止めてくれた。暫く眺めてカメラに収めた。次いで登山口に行ったが、昨日に続いて登山禁止の立て札が立てられていた。残念。山頂では強い風が吹いているのだろう。

サンライズ・ビュー・エリアは昨日の日没と同じように、既に数台のバスが待機し、観光客は柵が張られた観光ポイントに向かって歩いていた。

日没も日の出も赤く染まる。日没は寂しさを感じさせるが、日の出は澁刺とした躍動感を感じさせるのが不思議だ。ともに赤く染まった風景は言葉では表現できない迫力と美しさがあった。辺りが明るくなって来くるころ、言い知れぬ満足感を感じた。

<エアーズロックのベース・ウォーク>

登山がダメなら、エアーズロックを歩いて一周することにした。そして登山口までの送迎の車を予約した(86ドル≒7,200円)。歩く基本コースは1km、2km、4kmなどがあって1時間半が大体の歩行時間だ。他に一周コース(ベース・ウォーク)は10.6kmで3時間半となっていた。

午後2時登山口を出発、5時に送迎車が来ることになっているから、3時間以内に一周しなければならない。幸いに快晴で爽やか、暑からず寒からず歩くには絶好な日中で気分爽快。時間のことが気になって私は歩くのに必死だった。ところが体力に勝る妻は常に先に立って歩きにゆとりがある。平素のウォーキングやジョキングの効果をはっきり出ている。昔は断然私が先頭だったのに、何時の頃からか攻守が逆転してしまった。エアーズロックは全体が先住民アボリジニの聖地であるが、その中でも幾つかの特別の聖地があって、近づいてはだめ、写真撮影禁止、違反したら罰金という箇所があった。その付近を歩く時は随分遠回りをさせられてしまった。

遠くから見ると一つの大きな岩の塊のエアーズロックも近づいて見ると、大きな割れ目、溪谷、洞窟、泉、転がり落ちた岩の塊、可憐な草花など変化に富んでいた。必死に歩きながらそれらを逃すまいとシャッターを切った。結果終点の登山口に2時間半で着いた。不思議に途中誰にも会わなかった。広大な台地が私達二人の為にあるようだ。あれだけ沢山の観光バスが来ても、歩いて一周する人に会わないのは、皆さん歩くのが嫌いなのだろうか。

<エアーズロックの成因>

縄文・弥生時代は2,000年前の話、ここでエアーズロックは数億年の地層の推積と浸食により形成されたという、どうもぴんと来ない。推積した砂地の沈殿物が年代を経て花崗岩や推積岩となり地殻変動により出来上がった。

私が驚いたのはエアーズロックの地表に見える部分は全体のわずか5パーセントで残りの95パーセントは地中に埋もれている。更にびっくりするのはここから約50km西にあるオルガ岩群が地中で繋がっているとのこと。岩が赤いのは砂岩に含まれている鉄分が酸化して独特の赤みを帯びたとのことだ。

この辺の土地は原住民アボリジニのもの、そのため1985年から100年間オーストラリア政府がアボリジニの組織と借地契約を結んだ。1987年に世界遺産に登録されている。

<帰国>

エアーズロック観光の帰りはケアンズに一泊し、海岸の公園を散歩した。ケアンズは今迄私が見てきたオーストラリアの雰囲気。エアーズロックの全く違った景観はオーストラリアだけでなく世界的に珍しく、それを求めて世界中から集まった沢山の観光客を惹きつけている。

短い旅であったが、赤く染まった日没と日の出、爽やかな空気に触れながら歩いて一周したエアーズロックの思い出は強烈で、いつまでも私の心に残ることだろう。

以上



三毛猫ミイロの冒険

㊦ 柚本 アヤ子

エアーズロック探訪

PHOTO 撮影 川上四郎



奈良に住む従兄の嫁から、突然手紙が来た。「可愛い子猫がいます。もらってください。」と写真まで添えてあった。彼女の家にはすでに12匹の猫がいて、そのうちの意地悪なやつらにいじめられているという。

今、我が家には2匹の老猫（オス）が、怠惰な生活を満喫している。そう、昨年の5月に、ナナというメス猫が、持病の喘息が悪化して、4歳という幼さで死んだばかり。もう、猫はいい、と半ば思っていたところだが、写真を見てあまりの可愛さに心が動く。とりあえず、義理立てだけはしておかねばと思い、電話をしてみる。

メスとのこと。メスの可愛いのを飼いたいと、かねてから言っている夫に話すと、「僕が育てる」。

というわけで、縁談は成立し、従兄夫婦は早速、寒い日に車でちっちゃな子猫を連れてきた。子猫の小ささにとりより、我が家の猫達のあまりの際限ない大きさに、あらためて私の育て方を反省する。

マンション暮らしなんだもの、食べ物に苦労することもなく、面倒くさい運動で鍛える必要もない生活だもの、限りなく大きくなってもし方ないよね、と心の中で彼らを弁護してやるのだが。

子猫が来て彼らの生活は一変した。3日間くらいは、顔を見ると「シャーッ」と威嚇し近づくことを許さなかったものの、慣れてしまえばいつの間にかくっついて寝ている。子猫がひもをくわえて走り回っていると、老猫と一緒にひもにじゃれ付いて遊んでやっている。子供の相手は疲れるだろうと同情はするけれど、結構楽しそうにやっているのを見るとほっとする。子猫用のキャットフードもちゃっかり横取りして、大人げない。

子猫は三毛猫もどき、単なる三種混合ということで「ミイロ」と名づけた。名前を呼ぶと「にゃああ」と返事もする。なんておりこうな。

もちろん、われわれ人間もミイロに振り回される日々が始まった。とにかく遊んでほしくてまわり付くから、こちらはまっすぐ歩けない。すばしこくて、あっという間にどこかに行ってしまうわ、浴槽にはまっぴしょびしょになるわで、目が離せない。一度、トイレに入っていたのを知らず、仕事に行っている間、

一日中、閉じ込められていた日があった。トイレの中はめちゃくちゃに引っ掻き回され、壁紙も一部食いちぎられていた。ああ、かわいそうにごめんね。それでもおもらしはしておらず、なんておりこうなのと褒めてしまう。

そんなこんなで大忙しの毎日だが、この歳になっての子育てはやはりきつい。体力のあるうちに子孫を残す大仕事をさせる神様はよく考えておられるのだとつくづく思う。

彼女にとって、見るもの、触るものは全て初めてのものばかりだもの、毎日が冒険だ。目の輝きを見るとそう思う。人間も猫も同じ一生を送るのだ。これからミイロもそれなりに、苦勞もあるだろう、恋もするのだろう、地震やかみなりで怖い思いをするかも知れない。でも、我が家の家族になったからには、平和で幸せな一生を送らせてやりたいと心から願う。

目下のミイロの興味は九階のベランダから外を覗いてわれわれの寿命を縮めることです（写真）。



彼岸花

㊦ 渡辺 卓司

毎年、秋のお彼岸の中日の頃、彼岸花は咲く。今まで何もなかった田んぼのあぜ道に、赤いその花は鮮やかに、突然咲く。この花は曼珠沙華とも呼ばれる。天上に咲き、見る者の心を柔軟にすると言う梵語からきたものである。彼岸というのは、仏教では悟りの世界を意味し、彼岸に倒れるというありがたい言葉が、般若心経では波羅蜜多という言葉で言い表されている。

私は毎年、時を刻むかのように中日の頃になると咲くこの花が、不思議でならなかった。お彼岸と言えば、先祖の供養のため誰しも気にかけているこの季節に、まるで仏陀の教えを人々に説くかのように咲くこの花は、私にとっては驚異ですらあった。

2010年の夏は猛暑で、しかも長かった。私は彼岸花が例年通りに咲くかどうか大いに興味を持っていた。ひそかに、彼岸花の開花はきっと遅れるだろうと思っていた。植物に興味のある私には、「どんなに仏陀が開花日をお彼岸に合わせようと念じても、偉大な自然には勝てないだろう」と思わずにはいられなかった。そして、結果は約1週間遅れということになった。やはり自然は偉大である。

話は変わるが、私はマニュアルトランスミッションの車が好きて、そんな車しか乗らない。自分の思ったタイミングでシフトダウンして減速するのがたまらないからである。アコードに9年、12万 Km 近く乗り続けていたが、オイルの減りが早くなるようになっていた。エンジンを分解して調査してもらったが、原因は特定できなかった。しかし、どうもピストン上部から漏れ出ているらしいとのことであった。昔ならシリンダーの直径を広げたが、今は対応できないとのことであった。そのうち 1,000 Km 走行するごとに 1 L オイルが無くなるようになったのでしかたなく買い換えた。今や私の求めるような車は希少価値に値するようだ。8月末で販売終了となった CIVIC TYPE R が9月末に納車となった。私は躊躇することなく試運転に明日香行きを選んだ。彼岸花の開花が、約1週間遅れと聞いたからである。

石舞台古墳、棚田に咲き乱れる彼岸花を見に何度か明日香に行ったことがある。

大和には
群(むら)山あれど
とりよろう 天の香具山
登り立ち 国見をすれば
国原は煙立ち立つ
海原は鷗立ち立つ
うまし国ぞ蛸蛤島(あきつしま)
大和の国は(万葉集卷一)

丘の続く明日香の里の、けぶりは、特に好きである。



10月に入った最初の土曜日の朝はよく晴れていた。1時間少々で石舞台に着いた。駐車場がいっぱいなので、しかたなく棚田の方まで行ってみると、駐車できる空き地があった。棚田のあぜ道を多くの人がカメラ片手に行ったり来たりしていた。私もいい写真を撮るべく棚田のあぜ道を抜け、丘の上まで登った。そこには懐かしい稲掛け(私のふるさとではハゼと呼ぶ)があった。あぜ道にはフジバカマやゲンノショウコがあった。車をそのままに、石舞台まで歩いて降りた。途中オミナエシ、オバナ、ハギがきれいだった。まさに秋だった。



ところで、あの燃えるような曼珠沙華のエネルギーはどこから来るのだろうか? ヒガンバナ (*Lycoris radiata*) はヒガンバナ科で、ちょっと変わった植物だ。大抵の植物は、花が終わると葉が茂り、その蓄えたエネルギーが、翌年の美しい花につながる。皆さんはヒガンバナの葉を見たことがありますか? ヒガンバナは9月中旬、突然地中から芽を出し、燃えるように咲いたあと、白く朽ちるように色あせて無くなってしまふ。なのに、毎年、彼岸の中日の頃に深紅のエネルギーッシュな花を咲かせる。

実は、花も終わり、茎も衰れになった頃、ヒガンバナの葉っぱの芽が密かに出るので。ほとんどの植物が眠りにつく冬の2月、ヒガンバナの咲き誇っていたあぜ道に、出向いた人はそう多くはないでしょう。よく見ると、冬枯れのあぜ道に、幅8mm程の、細長い葉っぱの塊が、青々と、秋にヒガンバナの咲いていた所に見つかるはずで。そして、この葉は、多くの植物が一気に勢いを増す4月になると、次第に枯れてしまいます。9月中旬まで、ヒガンバナは地上から消えています。このように、ヒガンバナは花と葉が別々の時期に出るので、「葉見ず花見ず」などともよばれます。



そう、彼岸花は大抵の植物が眠りにつく冬のさなかに、ひとりエネルギーを密かに蓄え、彼岸の中日の頃に突然現れ、華やかに燃えたあと、無常を感じさせるように色あせて消える、いとも不思議な、しかも、したたかな花なのです。

創薬と私

㊦ 相坂 一雄

東北大地震の後、被災地で薬と薬剤師が不足しているというニュースを見ていて16年前を思い出した。阪神淡路大地震の2日後、母校である神戸市の西須磨小学校に避難していた両親を迎えに行った。母親が「自宅に戻って、大事なものを持って行きたい」というので自宅に連れて行った。そこで母親が、真っ先に鞆に詰めだしたのが医者から投薬されていた薬の山であった。

母親の薬とは、一見、健康そうな高齢者が、よく飲んでいる成人病の薬である。製薬業界はそれら多くのブロックバスターに支えられてきたのであろう。私自身は、富山大学薬品作用学教室に入った時から、薬理学者と思い始め、日本初の抗不整脈薬（サンリズム）を創製してからは、創薬のプロと自負している。今、大事なものは、薬効が実証されて医薬品となり、市場に出ている薬であろうが、私は、薬の研究者として未来を見据えていた。

主として、循環器系疾患の治療薬を研究してきたが、次は“動脈硬化の治療薬”だと思いながら、1988年末に留学のため渡米した。そこで目にしたのは、エイズ（AIDS；後天性免疫不全症候群）の脅威であった。循環器系薬物研究の傍らウイルス性疾患を勉強していくうちに、人類の将来はウイルスとの戦いであると思うようになった。

ウイルスの発見は19世紀の終わりであり、未だ100年余りの歴史しかないが、ウイルスによって惹き起こされる病気は数多く知られている。そして人類はウイルスに対抗する手段としてワクチンを開発し、ウイルスによる被害を最小限に止める努力を続けており、天然痘などは克服することができている。また、単純ヘルペスウイルスによる単純疱疹に対してはアシクロビル等が医療用医薬品としてのみ使用されていたが、薬事法改正により一般用医薬品第一類医薬品として購入できるようになり、幅広く使用されるようになった。

一方、エボラウイルス、AIDSを発症させるHIV（ヒト免疫不全ウイルス）、あるいは新たに発見されたHCV（ヒトC型肝炎ウイルス）のような新型ウイルス等、これらは私たちに苦しみ、病気にさせる病原体であることがわかった。これらのウイルスによる疾患

に対する治療手段は完全には確立されておらず、21世紀の医療は病原ウイルスとの戦いといって過言ではなく、その道具の一つとして医薬品の役割は重要である。

ウイルスを取り扱う実験は危険であるが、抗ウイルス薬のスクリーニングには、ウイルスそのものを使用する必要はない。とはいえ、“研究とは未来に属するもの”であるので、研究の安全性を管理することは重要である。

創薬という言葉は、私の恩師である野口照久先生の造語であるらしい。残念ながら今年の3月に逝去された。創薬についての恩師の言葉を反芻しながら文を終えたい（合掌）。

「創造の心」 野口 照久先生

新たなる創造は

夢で作られ

情熱で究められ 使命感で結晶する





富山大学近畿薬窓会ゴルフ大会報告

秋季大会H22年 9月3日 (木曜日)

～箕面カントリー倶楽部～ 参加者 11名



箕面カントリー倶楽部にて

	Wペリア戦		ハンディー戦	
	お名前	Net	お名前	Net
優勝	菊井 惣	71.0	市川 智博	56.5
準優勝	武中 正衛	71.4	島 司	72.4
3位	益田 拓郎	72.8	菊井 惣	74.4
5位	本多 芳明	74.0	小野 壽彦	74.7
7位	溝口 正	74.6	溝口 正	75.0
10位	小野 壽彦	76.4		
BB	伊藤 誉志男	80.4	本多 芳明	81.2

ドラコン：伊藤 誉志男 (No.7) 小野 壽彦 (No.16)

ニヤピン：飯田 晋一郎 (No.8) 菊井 惣 (No.13)

ベスグロ：武中 正衛 (40・41=81)

大 波：伊藤 誉志男 (51-45)

小 波：市川 智博 (45-44)

なお上記以外の参加者の皆さん：山岡 薫、百瀬美智留、河村章裕

秋季大会H23年 4月7日 (木曜日)

～箕面カントリー倶楽部～ 参加者 13名



箕面カントリー倶楽部にて

	Wペリア戦		ハンディー戦	
	お名前	Net	お名前	Net
優勝	武中 正衛	73.2	益田 拓郎	69.7
準優勝	和田 博元	73.8	武中 正衛	71.6
3位	飯田 晋一郎	74.6	市川 智博	73.0
5位	山岡 薫	75.4	溝口 正	76.0
7位	益田 拓郎	76.6	飯田 晋一郎	78.2
10位	島 司	78.2		
BB	伊藤 誉志男	21.6	小野 壽彦	82.7

ドラコン：武中 正衛 (No.7、No.15)

ニヤピン：伊藤 誉志男 (No.6) 益田 拓郎 (No.13)

ベスグロ：武中 正衛 (41-37=78)

大 波：溝口 正 (59-49)

小 波：和田 博元 (50-49)

なお上記以外の参加者の皆さん：本多 芳明、河村 章裕、菊井 惣

次回は、9月1日(木曜日)
箕面カントリー倶楽部で開催いたします。
沢山の方々のご参加をお待ちしております。

🌀 第8回芍薬会報告 🌀



平成22年10月31日(日) ～芍薬会のみなさん～

女性だけの集い、芍薬会は、いままで毎年、奈良、宝塚、京都、鳴門、少彦名神社/天満天神繁昌亭、”ならまち”を巡ってまいりました。

平成22年10月31日(日)、第8回芍薬会は六甲道で集合、行き先は六甲高山植物園です。

今回は和歌山からの先輩も加わり、総勢17名がバスに乗り込み、わいわいがやがやと目的地に向かいます。

植物園では、専属のガイドさんが、季節の花々を一つ一つ詳しく説明してくれます。真っ赤な実をつけたマムシ草、季節はずれの花を咲かせている九輪草やトリカブト。可憐な植物たちに見入っているうちに、雨が降り始めました。雨の芍薬会は初めてです。それも風情のあること。早々に次の目的地に急ぎます。

恒例の楽しい食事は六甲山ホテルで。たくさんの楽しいおしゃべりの花が満開となりました。そしてこの場で、薬窓会近畿支部副支部長を選出。60回 姜 仁順さんが、快く引き受けてくださることになりました。

芍薬会の新しい門出です。

さて、23年度第9回芍薬会は、世界文化遺産に指定された、京都の宇治方面(黄檗山万福寺から平等院)を企画しました。紅葉をめざして平成23年11月13日(日)を予定しています。もちろん、美味しいランチと楽しいおしゃべりの場も用意しています。皆様、ふるってご参加ください。



★ 事務局より★

110年以上の歴史と伝統ある母学出身の皆様、富山薬窓会近畿支部事務局では支部の運営や行事について、皆様のご意見を広く承りたいと思っています。毎月第三金曜日に開催しています例会“山金会”に参加頂き皆様の生の声を広くお聞きしたいと願っています。同様に、この“きんき遠久朶”の紙面をご利用下さい。

また、Eメール等で、
 支部長 渡辺: watanabe@peptide.co.jp、
 幹事長 宮本: k-miyamoto@towayakuhin.co.jp、
 事務局長 小林: masa_kobak8@yahoo.co.jp、
 にご連絡下さい。特に近畿支部会員のEメールアドレス一覧表を作成中ですので、皆様のアドレスを事務局までお知らせ下さい。相互の連絡に広く利用したいと思っています。

年会費(1,000円募金)について：

会報誌きんき遠久朶の発行と、総会の案内などの諸運営の一助に当てるため、毎年1,000円の年会費を募集しています。このため、総会案内と同時に振替用紙を同封しています。年会費を納めていただいた方には会報誌を送付させていただきます。近畿支部の活動と運営にご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。なお、総会出席者の会費の中には年会費を含ませています。

近畿支部会になって10年、大所帯になり、また事業の立ち上げもあり経費も増大しています。先輩がたの篤志による基金の利息は昨今では微々たるものとなっております。基金の取り崩しで補っている次第です。事情をよろしくご賢察下さい。

芍薬会へのお誘い

平成22年10月31日(日)、第8回芍薬会は六甲道で集合、行き先は六甲高山植物園です。

今回は和歌山からの先輩も加わり、総勢17名がバスに乗り込み、わいわいがやがやと目的地に向かいます。

植物園では、専属のガイドさんが、季節の花々を一つ一つ詳しく説明してくれます。真っ赤な実をつけたマムシ草、季節はずれの花を咲かせている九輪草やトリカブト。可憐な植物たちに入っているうちに、雨が降り始めました。雨の芍薬会は初めてです。それも風情のあること。早々に次の目的地に急ぎます。

恒例の楽しい食事は六甲山ホテルで。たくさんの楽しいおしゃべりの花が満開となりました。そしてこの場で、薬窓会近畿支部副支部長を選出。60回 姜 仁順さんが、快く引き受けてくださることになりました。芍薬会の新しい門出です。

・連絡先：57回 吉田 重子
 TEL:090-1221-3005

※ 詳細が決まり次第、改めてご案内いたします。



平成22年度 支部活動

- 近畿支部総会 平成22年 5月23日
 於：大阪弥生会館
- 芍薬会(女性会員サークル) 平成22年10月31日(日)
 六甲高山植物園を巡りました。
 コースは、六甲道駅～六甲高山植物園散策～
 六甲山ホテルでの会食会でした。
- 山金会 (毎月第三金曜日)
 於：新阪急ホテル Beets

平成22年	5月21日 / 6月18日
	7月16日 / 8月20日
	9月17日 / 10月15日
	11月19日 / 12月17日
平成23年	1月21日 / 2月18日
	3月18日 / 4月15日
	5月20日

* 山金会は、23年5月20日で77回を迎えました。
 同級会や気の合う同窓の会に気軽にご利用下さい。

富山薬窓会近畿支部

収支決算報告書

2010.4.1～2011.3.31

〈 収 入 の 部 〉	(単位：円)
支部総会 (58名)	333,000
年会費 (78名)	87,000
利息 (住友信託)	4,440
基金より繰り入れ	845,000
前年度より繰り越し	19,295
計	1,288,735

〈 支 出 の 部 〉	
支部総会費	504,990
きんき遠久朶発刊費	325,030
年会費手数料	9,520
芍薬会助成金	30,000
山金会 (12回)	405,000
次年度に繰り越し	14,195
計	1,288,735

近畿支部基金	2011.3.31
昭和39年 住友信託	1,020,000
昭和56年 住友信託	1,500,000
平成2年北陸銀行 (利息繰り入れ)	3,877,961

平成22年度 年会費協力者

26-5	斎藤 徳男	47-12	平尾 宏子	58-10	仲井 慶次	93-01	高島 理紗子
32-4	中島 靖介	48-01	石原 悦子	58-18	湯朝 安代	Prf-1	山崎 高應
33-3	中野 茂	48-05	小野 壽彦	58-20	柚本 アヤ子		
34-3	前田 美千雄	48-09	菅野 紘	58-21	米田 行徳		
35-2	西村 一男	48-10	野田 和夫	58-24	武久 正子		
36-4	堀端 栄之助	48-12	飯田 晋一郎	58-25	鳥居 文子		
36-5	前田 傳三	48-13	平野 紘子	58-27	水田 和孝		
38-6	野田 泰男	49-09	中塚 鞠子	59-09	戸田 静男		
39-2	大橋 保	49-14	山岡 董	59-13	村上 牧子		
39-4	沼田 美智子	49-16	山本 昌利	59-14	渡辺 卓司		
39-5	斉藤 諭一	49-18	渡辺 克彦	59-16	太木 恵美		
40-3	人見 五郎	50-16	川内 美栄	59-17	原 秀敏		
41-1	奥村 隆一	51-01	河原 純子	59-20	岩井 章洋		
41-2	曾根 良治	51-04	坂本 清則	59-26	福地 滋夫		
41-4	小西 友義	51-07	東 哲郎	60-06	小林 正史		
41-5	榊原 章光	51-08	益田 拓郎	60-10	竹村 眞知子		
41-8	仲野 永二	51-09	室井 正之	60-14	宮本 金夫		
42-1	相方 博文	51-13	渡邊 和子	60-20	姜 仁順		
42-3	百瀬 雄章	51-14	肥田 正孝	61-04	豊田 繁		
43-1	加藤 秀夫	51-17	西川 陽子	61-09	菊地 武夫		
43-6	長谷 純子	52-03	桂 恵美子	62-07	津田 裕子		
43-7	黒田 富雄	52-04	加藤 征子	63-01	釜谷 美恵子		
43-8	蛭谷 衛	52-08	一柳 博康	63-03	貞包 久代		
44-1	市川 智博	53-02	檜葉 敏子	63-04	豊田 由紀		
44-3	川上 四朗	53-03	菊井 勲	63-06	横田 弘		
44-6	山崎 昭平	54-03	有田 齐	63-07	相坂 一雄		
44-7	山住 拓一	54-04	有田 寿子	64-04	吉田 健二		
44-8	川内 潔	54-05	菊井 惣	65-02	島井 伸依		
45-03	中林 靖	54-06	水野 憲一	65-04	穴見 悦子		
45-05	本多 芳明	56-04	木村 正昭	66-01	合田 康子		
45-07	溝口 正	56-08	富田 尚子	66-05	長井 裕子		
45-09	吉屋 久雄	56-09	濱島 健二	66-14	山本 哲子		
45-10	垣見 怜子	56-10	増田 佐智子	67-02	大江 善則		
46-02	石黒 聖啓	56-11	吉川 和憲	68-02	柏谷 純子		
46-06	本田 久美子	56-12	荻野 嘉丈	68-04	服部 竜八		
46-08	三浦 健	57-05	小野坂 敏見	69-02	大江 桂子		
47-02	江川 宏	57-09	阪上 優子	69-07	横田 文子		
47-03	久保 一義	57-11	西 洋寿	71-02	西尾 孝		
47-05	武中 梅子	57-14	吉田 重子	72-02	鶴澤 豊		
47-07	中村 信一	58-03	上田 泰生	72-08	百澤 美智留		
47-09	濱田 精一	58-04	掛見 佳代子	73-02	河村 章裕		
47-10	東 聡	58-05	勝山 巖	75-02	荒井 実		
47-11	平尾 元紀	58-08	田中 滋雄	76-01	西村 誠		

富山葉窓会近畿支部

役員

(2010年5月23日承認:一部変更あり)

支 部 長	(59) 渡辺 卓司		
副 支 部 長	(71) 西尾 孝	(60) 姜 仁順	
幹 事 長	(60) 宮本金夫		
事 務 局 長	(60) 小林正史		
事 務 局	(41) 奥村隆一	(75) 荒井 実	(76) 西村 誠
山 金 会	(72) 鶴澤 豊	(58) 上田泰生	
おくだゴルフ	(54) 菊井 惣		
芍 薬 会	(57) 吉田重子	(69) 横田文子	
幹 事	(56) 吉川和憲 (58) 柚本アヤ子 (60) 竹村眞知子 (63) 釜谷美恵子 (63) 横田 弘 (73) 河村章裕	(57) 小野坂敏見 (59) 原 秀 敏 (61) 豊田 繁 (63) 豊田由紀 (69) 横田文子	(57) 阪上優子 (59) 福地滋夫 (61) 菊地武夫 (63) 相坂一雄 (72) 百澤美知留
評 議 員	(40) 人見五郎 (44) 山住拓一 (46) 森野行雄 (48) 飯田晋一郎 (52) 一柳博康 (56) 荻野嘉丈	(41) 仲野永二 (45) 溝口 正 (46) 石黒聖啓 (48) 小野壽彦 (53) 菊井 昴 (58) 勝山 巖	(44) 山崎昭平 (45) 本多芳明 (47) 中村信一 (52) 桂 恵美子 (56) 濱島健二
顧 問	(36) 堀端栄之助		
() 内	卒業回数		

富山薬窓会近畿支部会則

- 第1条 本会は富山薬窓会近畿支部と称する。
- 第2条 本会は会員相互の親睦と福祉をはかり併せて母校の発展に寄与するを以て目的とする。
- 第3条 本会の連絡事務所を大阪市内に置く。
- 第4条 本会は滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県及びその周辺地区に在住する富山薬窓会会員を以て組織する。また会員を分けて下記の2種とする。
1. 正会員 富山薬学専門学校(元県立を含む)、富山大学薬学部及び富山医科薬科大学薬学部卒業生及び富山医科薬科大学大学院薬学研究科修了生。
 2. 特別会員 母校元職員及び本会に特に功労があり総会の推薦のあった者。
- 第5条 本会に下記の役員を置く。
1. 支部長1名、1. 副支部長2名、1. 幹事長1名、1. 副幹事長1名、
 1. 評議員若干名、1. 常任幹事若干名、1. 基金運営委員若干名、1. 監事2名
- 第6条 役員は総会において選任する。
- 第7条 支部長は会務を經理し支部を代表する。副支部長は支部長を補佐し支部長に事故がある時は之を代理する。幹事長、副幹事長は支部長、副支部長の意図に従い会務の運営をはかる。常任幹事は幹事長の指揮に従い会務を処理する。評議員及び基金運営委員は支部長の要望に応じ会務の運営に参加する。監事は本会の会計監査に当たる。
- 第8条 役員の任期は2ヶ年とする。但し重任を妨げない。補欠により就任した役員の任期は前任者の残任期とする。
- 第9条 本会は総会の推薦を経て相談役を置く事ができる。
- 第10条 会議を分けて総会と役員会とする。
- 第11条 総会は定期総会と臨時総会の2種類とし、定期総会は毎年1回とする。臨時総会は役員会において必要と認めたとときに之を開く。
- 第12条 総会では下記事項を議決する。
1. 会期の変更について、1. 重要会務について、1. 役員選挙について
 1. 収支決算並びに予算について、1. その他必要と認めたと事項について
- 第13条 役員会は支部長が必要と認めたとときに之を開く。
- 第14条 本会の経費は年会費、基金、利息及び寄付金等を以て之にあてる。
- 第15条 会計年度は毎年5月1日に始まり翌年4月30日を以て終わる。
- 附則 本会則は平成12年6月1日より之を施行する。

連絡所：大阪市中央区道修町2丁目6番6号
中間物商事株式会社 内

